

結 (ゆい) 第 25 号

発行 関西ねじ協同組合 広報委員会

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-16 毎日東ビル TEL06-6974-0531 FAX06-6975-2181

E-mail info@kansaineji.com

URL <http://www.kansaineji.com>



第11回総会 会場

第11回通常総会を開催

関西ねじ協同組合は「第11回通常総会」を5月29日、大阪市北区の「リーガロイヤルホテル大阪」で開催。組合員・賛助会員・来賓各位が多数参加する中、第一部「講演会」にてJIS規格改正原案の説明が行われ、第二部「総会」では平成25年度事業計画案をはじめ事業報告・会計報告・予算案等の全議案が原案通り承認された。

総務委員会

第11回通常総会のご報告

委員長 池田裕之
(池田金属㈱)

関西ねじ協同組合の第11回通常総会が5月29日、リーガロイヤルホテル大阪にて開催されました。

第一部講演会は、六角ボルト・ナット J I S 規格改正原案について、概要を日本ねじ工業協会・大磯義和専務理事、ボルトは株式会社平戸製作所・平戸眞澄氏、ナットは株式会社コベフオージ・橋本和氏がそれぞれ説明を行った。

第二部総会では中江副理事長の司会進行で箕村理事長の挨拶に始まり、来賓の大阪府商工労働部中小企業支援室、ものづくり支援課・小山庸子課長補佐、日本ねじ工業協会・竹中弘忠会長がそれぞれ挨拶を行った。

続いて議長に箕村理事長を選出して議案審議に入った。

第一号議案 平成24年度事業報告及び平成25年度事業計画案では、海外情報委員会の柳原委員長、IT委員会の川端委員長、研究開発委員会の大場委員長ら3名が実施状況及び次年度計画の説明を行い、北井副理事長が全体の活動報告と事業計画案を発表した。

第二号議案 平成24年度決算報告 剰余金処分案は池田専務理事が説明を行い、会計監査報告は西川監事より正確かつ適切であると報告された。

第三号議案 平成25年度予算案 加入金賦課金徴収方法については西副理事長より説明があり、いずれの議案もすべて異議なく承認された。

第三部懇親会へと移り、松田理事の司会進行により、来賓の紹介に続き、近畿経済産業局 産業部製造産業課の濱崎千弥喜課長補佐からの祝辞、続いて後藤晴雄理事の乾杯の音頭で宴に入った。和気あいあいの中参加者それぞれに親睦を深め、宴たけなわの中閉会の辞がハマリ役の西泰宏副理事長の中締めがあつて散会とあいなりました。

美味しい料理を楽しんでアツという間の2時間でした。皆様の御協力に感謝致します。

第一部 報告会



(一社)日本ねじ工業協会
大磯 義和 専務理事



(株)平戸製作所
平戸 眞澄 氏



(株)コベフオージ
橋本 知 氏

第二部 総 会



挨拶する箕村 理 理事長



～来賓祝辞～
大阪府商工労働部 ものづくり支援課
小山 庸子 課長補佐



～来賓祝辞～
(一社)日本ねじ工業協会
竹中 弘忠 会長

第二部 総 会



海外情報委員会
柳原 考至 委員長



I T活用委員会
川端 康弘 委員長



研究開発委員会
大場 康弘 委員長



その他事業報告
北井 啓之 副理事長



決算報告
池田 裕之 専務理事



監査報告
西川 倫史 監事



予算案等を提案する
西 泰宏 副理事長

第三部 懇親会



～来賓挨拶～
近畿経済産業局 製造産業課
濱崎 千弥喜 課長補佐



～乾杯の発声～
後藤 晴雄 理事



～閉会の辞～
西 泰宏 副理事長



懇親会場にて

平成25年度事業計画

1. 研究開発事業

【研究開発委員会】

(委員長 大場康弘・株式会社コクブ、副委員長 藤原廣二・フジテック株式会社、豊田裕司・株式会社巴製作所)

〈活動方針〉

ねじの腐食寿命と試験方法の検討に関する総括と新研究テーマの検討を行う

〈事業内容〉

- ・活動成果報告書の発行と配布
- ・組合員向け活動成果発表会の開催
- ・東アジア腐食防食国際会議での活動成果の発表
- ・新しい研究テーマの検討

【営業政策プロジェクト】

(委員長 後藤晴雄・株式会社朝日押捻子製作所)

〈活動方針〉

ねじ業界を取り巻く営業環境の研究、業界の生産量集計方法の構築に取り組む

〈事業内容〉

- ・組合員を対象とした各月毎の生産統計調査の実施

2. 共同宣伝事業

【広報委員会】

(委員長 樫本宏志・株式会社三和鋳螺製作所、副委員長 森嶋勲・有限会社アールケイ興産)

〈活動方針〉

機関誌「結」の定期発刊を行い会員相互の情報提供を行う

〈事業内容〉

- ・機関紙「結」の定期発刊(年二回)
- ・総会・展示会の開催状況の掲載
- ・各委員会の活動・講演会等の情報等の掲載
- ・組合員・賛助会員の事業所を取材し、企業紹介の掲載

【IT活用委員会】

(委員長 川端康弘・株式会社オー・ピー・ジ、副委員長 藤原智廣・フジテック株式会社)

〈活動方針〉

組合活動広報の一環として、「結」以外のインターネットを活用した媒体による、組合員に対するタイムリーな情報提供と、外部に対する活動PRを実証・研究する。

〈事業内容〉

- ・ホームページ管理画面の操作講習会の開催
- ・組合ウェブサイトの更新メンテナンス
- ・組合ウェブサイトを通じた組合活動活性化の検討

3. 教育情報事業

【海外情報委員会】

(委員長 柳原考至・ロックファスナー株式会社、副委員長 松本典丈・松本ナット工業株式会社)

〈活動方針〉

海外の産業動向を研究する年一回の海外研修を行う

〈事業内容〉

- ・海外視察の実施

【人材開発委員会】

(委員長 由良宜彦・嘉亀鋼業株式会社、副委員長 行俊明紀・株式会社竹中製作所)

〈活動方針〉

現人材の高度化、新人材の採用等の課題に取り組む

〈事業内容〉

- ・経営者や役員を対象として講演会の開催
- ・管理職者対象の研修会の開催
- ・従業員対象の研修会の開催
- ・工場見学会の開催
- ・近隣大学就職部との情報交換会の実施
- ・技能講習会の開催

4. 福利厚生事業

【福利厚生委員会】

(委員長 夏原和哉・株式会社ナツハラ、副委員長 江浦善照・株式会社江浦製作所)

〈活動方針〉

構成会員の従業員並びに家族を対象とした福利厚生の充実を目指す

〈事業内容〉

- ・委員会総会の開催
- ・親睦ボウリング大会の開催
- ・日帰りグルメツアーの開催
- ・年二回の家庭常備薬の斡旋
- ・カーリースの斡旋
- ・各種保険の斡旋

【会員交流委員会】

(委員長 今井敏雄・株式会社丸菱ナット製作所、副委員長 中谷格・東和工業株式会社)

〈活動方針〉

ゴルフコンペ及び囲碁を通じ、会員相互の親睦交流を深めること目指す

〈事業内容〉

- ・ゴルフコンペの開催(春季・秋季)
- ・囲碁倶楽部の定期開催

【総務委員会】

(委員長 池田裕之・池田金属株式会社、副委員長 松田洋明・株式会社ヨット印・ダイワ)

〈活動方針〉

総会、新年会、理事会等の会合を統括し、組合運営の円滑な推進を目指す

〈事業内容〉

- ・通常総会の開催
- ・新年互礼会の開催(大阪鋳螺卸商協同組合と合同開催)
- ・理事会の定期開催

5. 一般事業**【会員開発プロジェクト】**

(委員長 池田栄治・大洋ナット工業株式会社)

〈活動方針〉

組合員・賛助会員の新規加入を促進する

〈事業内容〉

- ・情報交換を目的とした定期会合の開催

【ねじづくりサポート会】

(会長 坂元正樹・サカモト工業株式会社)

〈活動方針〉

組合員企業との交流により相互の発展・進化の機会を設ける事を目指す

〈事業内容〉

- ・ねじづくりサポート会 総会の開催
- ・組合員との情報交換及び交流会の開催
- ・賛助会員分科会員同士での意見交換会の開催
- ・技術展示会の開催

【K-2(関西ねじ協同組合二世会)事業】

(代表幹事 伊藤竜介・株式会社伊藤戸車製作所)

〈事業方針〉

二世経営者に必要な資質・知識を養成・習得することを目指す

〈事業内容〉

- ・総会、勉強会、二会合同研修会、忘年会、旅行会の開催

【ドリルねじ分科会事業】

※平成24年度事業を踏まえ、ドリルねじ分科会総会後に詳細を正式決定

【ナット分科会】

(会長 池田栄治・大洋ナット工業株式会社)

〈活動方針〉

同業種の企業間で、経営・業界課題について情報交換会を行う

〈事業内容〉

- ・情報交換を目的とした定期会合の開催

【特殊ファスナー分科会】

(会長 豊田裕司・株式会社巴製作所)

〈活動方針〉

同業種の企業間で、経営・業界課題について情報交換会を行う

〈事業内容〉

- ・情報交換を目的とした定期会合の開催

【小ねじタッピング分科会】

(会長 池田裕之・池田金属株式会社)

〈活動方針〉

同業種の企業間で、経営・業界課題について情報交換会を行う

〈事業内容〉

- ・情報交換を目的とした定期会合の開催

【ボルト分科会】

(会長 由良宜彦・嘉亀鋼業株式会社)

〈活動方針〉

同業種の企業間で、経営・業界課題について情報交換会を行う

〈事業内容〉

- ・情報交換を目的とした定期会合の開催

【自動車部品分科会】

(会長 中江良一・紀州ファスナー工業株式会社)

〈活動方針〉

同業種の企業間で、経営・業界課題について情報交換会を行う

〈事業内容〉

- ・情報交換を目的とした定期会合の開催

【座金分科会】

(会長 山本修三・株式会社山上製作所)

〈活動方針〉

同業種の企業間で、経営・業界課題について情報交換会を行う

〈事業内容〉

- ・情報交換を目的とした定期会合の開催

全 般 管 掌

今年度は次のステップに向け展望を探る



関西ねじ協同組合

理事長 箕 村 理
(株 ダイロック)

第11回通常総会が、5月29日140余名の組合員、賛助会員の参加の下リーガロイヤルホテルにて開催されました。昨年の総会時の経済情勢に比べて、明るい兆しが見られるようになってきたことは喜ばしいことです。デフレ脱却、過度の円高の修正により、輸出産業から業績回復を見せてきていて、日本経済全体の持ち直しに結び付いていくことへの期待感にあふれています。我々ねじ業界も統計数字の上では生産高、金額ともに7~8%増加しています。今年度こそ組合員、賛助会員各位が努力して景気回復を現実のものに勝ち取っていただくことを希望いたします。

当協会の委員会活動は、組合設立10年を経過いたしますと次のステップに移行しなくてはならないことが多く出てまいります。総会でも報告させていただきましたが、研究開発委員会の「ねじの腐食寿命と加速試験との相関関係」に関する活動及び、現在は日本ねじ工業協会に引き継いだ資格制度委員会やJIS規格検討協議会での活動などが大きな活動成果を残して、その終盤をむかえています。本年度は、次のステップに向けた展望を探る一年ともいえる年になると思います。新たに創設したものと合わせて六つの分科会に予算付けさせていただきましたが、これらも今後の組合活動の柱となりうるかどうかの試金石です。そのほか組合員各位からご提案があればなんなりと理事、事務局に連絡してください。広報委員会、IT活用委員会、海外情報委員会、人材開発委員会、福利厚生委員会、会員交流委員会は、関西ねじ協同組合の定番活動となっています。

本年度も組合員各位にお役に立つ企画を出してまいります。多くの方々の参加をお願い申し上げます。

IT活用委員会

もっと使って頂ける組合HPをめざす

委員長 川 端 康 弘
(株オー・ピー・ジ)

本年度IT委員会では、特に各会員企業様にて「もっと組合員(社員皆様)で、使って頂けるホームページ」をコンセプトとし、リニューアルされた組合ホームページの充実をはかっていきます。

既に過半数の組合員企業様に登録いただいております、利用IDとパスワードを使って、どんなことが出来るの?企業紹介ページを修正加工・企業のニュースリリースの入力など様々な項目については、参加申し込み多数にてご迷惑をおかけしますが、順次講習会を行ってまいります。

(2013年6月3日 1回目) (2013年8月26日 2回目)



また組合委員会活動についても、現在随時各委員会にて公開掲載して頂ける段階となっており、都度ごとに「この委員会参加したいな～」とか、「こんな組合事業に興味があるな～」 「関西同業や協力外注先でこんなところないかな～」などの窓口サイトになれば幸いです。

IT活用委員会では、これら「使って頂ける段階」までは完成に至っておりますが、今後もバージョンを常に取り替えて、新たな機能を付加していく予定です。

- ① RSSで組合外の団体等へ公開する
- ② 関西ねじ産業の生産量集計
- ③ 事業活動への参加申し込みの簡略化と、周知による参加者UP
- ④ SNSなどのコミュニケーション

是非一度、関西ねじ協同組合ホームページにアクセスしてみてください！！

<http://www.kansaineji.com/>

人材開発委員会

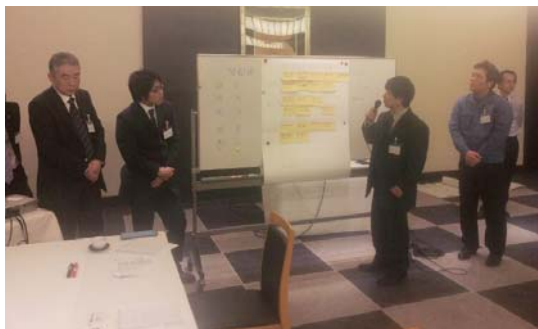
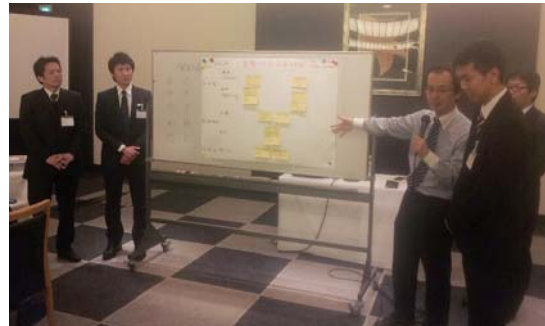
ワークショップを開催

委員長 由良 宜彦
(嘉 亀 鋼 業 株 式 有 限 公 司)

平素より組合員ならびに賛助会員の皆様には人材開発委員会の活動に多大なるご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当委員会では今年3月5日にワークショップを開催致しました。

これは各企業様の若手社員が集まり、一つのテーマについて議論を深め、最終的に成果発表を全員の前で行う、という取り組みであります。当日は、議論するテーマそのものを選択する所から始めます。初対面の人間同士が行うため、傍で進行を促すお手伝いをしていいる我々もハラハラと緊張した時間を過ごしました。だんだんと議論も白熱し、最後には参加者一同、心地よい達成感を味わう事が出来ました。当委員会では、人材育成や各職階が抱える問題に対して課題解決にお役に立てるような様々な企画を検討、実施して参ります。ご要望やリクエストなど有りましたらお寄せ下さい。



委員会のメンバーをご紹介します

企 業 名	氏 名
嘉亀鋼業株式会社	由良 宜彦
株式会社竹中製作所	行 俊 明 紀
ケーエム精工株式会社	北 井 啓 之
株式会社オー・ピー・ジ	川 端 康 弘
東和工業株式会社	中 谷 成 智
ロックファスナー株式会社	柳 原 考 至
太陽精工株式会社	山 下 貴 嗣
株式会社野村工具製作所	野 村 拓 広
(株)ヒラノファステック	平 野 靖 雄



海外情報委員会

10月にインドネシア視察を検討

委員長 柳原 考 至
(ロックファスナー㈱)

組合員の皆様こんにちは。

当委員会の委員長を仰せつかっているロックファスナー㈱の柳原です。

平素は海外情報委員会の委員会活動に御理解と御尽力をいただきまして誠にありがとうございます。

私が委員長をさせていただき、2年目となった今季は、躍動する東南アジア方面の視察旅行をと考えております。

当委員会では、平成25年6月7日に、事務局会議室で行われた委員会にて、今年度の視察先としてインドネシアを検討しています。

旅程内容としては、10月9日から10月13日を予定しています。

見学先としては、ねじ関連産業及び製造業全般を検討中です。

出来るだけたくさんの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。



福利厚生委員会

第11回親睦ボウリング大会を開催

委員長 夏原和哉
(株 ナツハラ)

福利厚生委員会は6月23日(日)に、大阪市北区「桜橋ボウル」を会場として上半期のイベントである第11回親睦ボウリング大会を開催しました。

この大会は、組合員(賛助会員含む)企業の従業員リ克雷ション活動の一環として、組合設立以来取り組んでいるイベントです。盛りだくさんの賞品があることから多くの組合員様にご参加頂いております。

さて、今大会は、「桜橋ボウル」の5階～7階フロアを使用し、26社、163名、55チームで団体戦と個人戦を行いました。今年度は例年よりもたくさんのご参加を頂き、関係者一同、非常に感謝しております。

大会はボウリング場のアナウンスでスタートし、約1時間に渡って、団体戦は1チーム3名、1人2ゲーム、チーム6ゲームトータルピン数で、また、個人戦は1人2ゲームトータルピン数で競いました。(女性・子供は1ゲーム20点のプラスハンディキャップ・昨年男子個人戦上位者にはマイナスハンディキャップ)

結果は、関西ねじ優勝杯(団体戦)は、3年連続でケーエム精工(株)チームが手にされました。個人戦は(株)ローラテクニカチームの西口氏が2ゲーム412点という高得点で優勝されました。結果は別表のとおりです。実力が出せた方、出せなかった方、悲喜こもごもでしたが、楽しいひと時を満喫して頂いたものと、思っております。ご参加、ありがとうございました。

また、福利厚生委員会では、下半期のイベントとして、大人気グルメツアーを用意しております。開催は11月23日(土)の予定です。組合員(賛助会員)の皆さんに喜んで頂ける企画を致しますので、奮ってご参加応募願います。

★団体戦

順位	企業名	ネットーブル
優勝	ケーエム精工株式会社	1074
2位	株式会社 松平精工	1099
3位	鹿児島島金属株式会社 B	994

★女性の部

順位	氏名	企業名	ネットーブル
優勝	都司 知佳	金剛鋳螺株式会社 B	354

★総合個人戦

順位	氏名	企業名	ネットーブル
優勝	西口 松太	株式会社ローラテクニカ	412
2位	新原 博昭	鹿児島島金属株式会社 B	394
3位	榎本 慶悟	株式会社 ダイロック 東大阪工場A	385

尚、3位と同スコアの(南サカエ製鉄所の)吉村 昌哉さまは年齢で4位となりました。

★子供の部

順位	氏名	企業名	ネットーブル
優勝	難波 楓	日産ネジ株式会社 B	173



ボウリング会場



総合個人戦の強者

会 員 交 流 委 員 会

第20回 記念ゴルフコンペを開催

委員長 今 井 敏 雄
(株丸菱ナット製作所)

平成25年 3月28日(木)に第20回の記念ゴルフコンペを企画しましたところ、予想を上回る42名の参加を頂き、急遽11組に増やして開催致しました。

また今回より参加費を10,000円にさせて頂きその分賞品を少し豪華にしました。優勝はグロス83で回られた(株)三和鋳螺製作所の榎本会長でありましたが、所用で先に帰られた為、榎本社長が前代未聞の代理優勝スピーチ、和やかなうちに無事コンペを終えることができました。

皆様ご協力有難うございました。

しかし残念でならないのは、大西鋳螺(株)の大西氏が体調不良でハーフ終了後にリタイアされ、その後6月にご逝去のお知らせを受けたことは誠に痛恨の極みであり、改めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

なお、秋には土曜日開催でのコンペを予定しておりますので、奮ってのご参加をよろしくお願い申し上げます。

NO	氏 名	会 社 名	NO	氏 名	会 社 名
優勝	榎本 隆之	(株)三和鋳螺製作所	21	今井 敏雄	(株)丸菱ナット製作所
準優勝	平石 正一郎	太平鋳螺(株)	22	橋本 惣次郎	(有)サカエ製鋳所
3	戸田 高司	瑞穂工業(株)	23	北井 正次	ケーエム精工(株)
4	西居 厚	(株)信光ステンレス	24	成田 顕	和光金属工業(株)
5	池田 栄治	マコト産業(株)	25	小林 永典	サカイ工機(株)
6	榎本 宏志	(株)三和鋳螺製作所	26	沼田 敏彦	タケタツール(株)
7	木村 文雄	(株)富士製作所	27	中谷 格	東和工業(株)
8	箕村 理	(株)ダイロック	28	上田 健	(株)エコー
9	岡井 康治	オーアイテック(株)	29	江本 将三	東洋ナット(株)
10	三木 年正	日本テクノシェーン(株)	30	隅田 彰三	(株)隅田鋳螺製作所
11	北角 尚弘	北角紙器(株)	31	江浦 善照	(株)江浦製作所
12	辻田 稔	光精工(株)	32	木田能風子	高越鋼業(株)
13	田中 義広	田中熱工(株)	33	山川 幾次	(株)共立ヒートテクノ
14	谷口 えり子	日之出金属熱錬(株)	34	池田 裕之	池田金属(株)
15	木本 寿夫	(株)白天製作所	35	神山 裕義	(株)神山鉄工所
16	浜中 雷太郎	丸共ナット(株)	36	夏原 和哉	(株)ナツハラ
17	田島 祥一	(株)丸エム製作所	37	村上 宏	(株)モリシタ
18	田中 良太郎	(株)フセラシ	38	中江 良一	紀州ファスナー工業(株)
19	松元 收	(株)丸エム製作所	39	久保 清一	金剛鋳螺(株)
20	平田彰三郎	平田ネジ(株)	40	水田 長光	(株)神山鉄工所
			41	当銘 由一	(有)新城製作所

ねじづくりサポート会

事業計画について

会 長 坂 元 正 樹
(サカモト工業 株)

平素より組合員ならびに賛助会員の皆様には、ねじづくりサポート会の活動に格別のご高配を賜り御礼申し上げます。

本年度の事業計画を報告いたします。1つ目と致しまして毎年恒例になっております年末の「情報交換&親睦パーティ」です。今年も200名を予定しています。年末のお忙しい時期ではありますが情報交換を行える場として活用して頂ければと思います。

2つ目と致しまして、2年に1度行っている技術展示会を開催いたします。組合員の皆様に新技術・新素材・新製品情報を提供できればと思いますのでご参加をお待ちしております。

その他、ねじづくりサポート会では会員同士の情報交換や親睦を図るために意見交換会や勉強会を行っています。昨年は工場見学会を行いました。見学先は当分科会会員でもあります田中熱工株式会社様でした。22社31名の参加で熱処理・表面処理の勉強をさせていただきました。今後も組合員企業を「より積極的にねじづくりをサポートしていく」という目的で活動していきますので宜しくお願い致します。また、当会に入会されていない賛助会員企業の皆様でご興味があればご相談ください。

最後になりますが今期の役員を紹介します。

会 長	サカモト工業株式会社	代表取締役社長	坂元 正樹
副会長	理化工業株式会社	代表取締役社長	森嶋 勲
副会長	サカイ工機株式会社	代表取締役社長	小林 洋介
会 計	北角紙器株式会社	代表取締役社長	北角 尚弘
書 記	株式会社信光ステンレス	代表取締役社長	西居 慎一郎
書 記	田中熱工株式会社	海外事業推進室	末本 彬人
幹 事	株式会社阪村機械製作所	代表取締役社長	中野 孝之
幹 事	東田機工株式会社	代表取締役社長	東田 勇人 (新任)
相談役	大阪精工株式会社	取締役社長	澤田 斉
相談役	田中熱工株式会社	代表取締役社長	田中 良典

K-2 (関西ねじ協同組合2世会)

平成25年度の体制と活動について

代表幹事 伊藤 竜 介
(株伊藤戸車製作所)

本年度K-2代表幹事を務めさせて頂いております株式会社伊藤戸車製作所の伊藤竜介です。

平素は関西ねじ協同組合の2世会・K-2に対して多大なご支援、ご理解をいただき誠にありがとうございます。

さて今年度は新たに下記の方々を幹事としてK-2会を運営しております。まだまだ未熟ではございますが、みなさまのご協力とご指導をお願い申し上げます。

代表幹事	伊藤竜介	株式会社伊藤戸車製作所
副代表幹事	池田夏来	大洋ナット工業株式会社
会計幹事	板谷直貴	株式会社オーエスアイツール
書記	神山貴至	株式会社神山鉄工所
幹事	橋本浩	有限会社サカエ製鋌所
幹事	谷本和隆	谷本ネジ工業株式会社
幹事	三宅誠	有限会社萬善鍍金

加えて、今年度は下記の事業計画をもとに活動してまいります。

平成25年9月	旅行会
平成25年10月	二会合同研修会 (OS会主催)
平成25年12月	忘年会
平成26年2月	勉強会

なお、K-2会は現状55名の会員で構成されていますが、内訳では30代後半から40代が多く、5~6年経過しますと大幅に会員数が減少すると思われます。われわれの業界に精通する45歳までの若手経営者さまやご子息・ご令嬢様がおられましたら、入会のお声がけをお願い申し上げます。

最後になりますが、幹事一同、今年度の活動が楽しく有意義なものになるよう努めて参りますので、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

特殊ファスナー分科会

活動状況の報告

委員長 豊田 裕 司
(株巴製作所)

平成24年12月に初めての会合を行う。分科会に参加応募いただいている企業数は7社で会合出席者は5社。他分野への産業へ製品を納入している企業が集まっているため、話題提供は豊富。今後は①非製造部門について(財務や経理)②品質レベルについて③世間で注目されているニュース(トンネル吊り天井崩落など)について、意見交換をしながら有意義な情報交換をしてゆく方針です。ご興味のある方は是非事務局へ参加のご意向を連絡をお願いします。

以上、よろしくお願いいたします。

会員交流委員会・囲碁倶楽部

だれでも楽しめる囲碁

幹 事 紀 村 征 一 郎

(榎大和螺子)

昨年、囲碁クラブの秋期研修会が、9月17～18日 白浜温泉・海舟で開催されました。当日の出席者は、大洋ナット・池田社長、東和工業・中谷社長、三和鋳螺・榎本社長、神山鉄工・神山社長、ティアイジー・浅井所長、大和螺子・紀村社長（以下、敬称を略す）及び女流学生本因坊・堀本先生の七名であった。

数年前、池田さんがゴルフより「ゴ」に凝っているとのこと。浅井さんが好ライバルとして、その相手をしているということから、同好の志が集まって、囲碁クラブが結成された。主会場は井山裕太五冠がいる、日本棋院関西総本部になり、毎月定例会を行う外、遠征をして囲碁のみならず、ゴルフ・魚釣りなども企画し交流委員会として成果を揚げている。

発足当初はプロの梁川七段に指導碁を打ってもらい、棋力の上達を計っていたが、浅井さんの御尽力で学生女流本因坊の堀本先生に指導してもらうことになった。堀本さんは大学生三回生のチャーミングな女性である。当クラブのアイドルであるが、指導碁も打って下さる。指導碁とは3～4人を同時に相手にして囲碁を打ち、終局ののち、初手から並べ直してポイントを指摘し、棋力の向上を計るものである。

この度の白浜「海舟」の研修会では、中谷さん・神山さんが碁盤を車に積んで持ってきて頂いた為、全員が同時に堀本先生の指導碁が受けられて良かったと思う。午後から夜まで、組合せを変えて何局も手合わせが出来て、十分囲碁を楽しむことが出来た。食事も海の幸をメインにした料理で素晴らしかった。ただ、残念なのは台風が発生し、海が荒れたため、釣船にての魚釣りに挑戦する予定がダメになってしまったことである。各自戦果を予定して車で来られたのに天候の為とはいえ、少しがっかりしたものである。

囲碁は序盤が戦略、中盤が戦術、終盤が戦果というように、考えられるため、経営に繋がる趣味ともいえる。我田引水のきらいはあるが、そう思っている。

ゴルフと同じくハンデキャップが有り、初心者の方でも手合わせが出来るようになっていく。基礎知識はどんなゲームでも必要であるが、少しづつ判ってくれば、きっと面白くなると思う。幸い堀本先生、ご指導の定例会は会員の出席率も上がり、定時前より集合して囲碁対局をする状況になっている。終局後の食事会も、榎本さん・浅井さんが手配をして下さって楽しい時間になっている。

競技会形式とはしていない為、各自の成績は記録していないが、会員が厳しい日常業務を束の間であるが、忘却して囲碁に熱中する時間をもてることは、明日への活力になることは間違いないと思います。

***** 美しい日本の美しい話 第五話 *****

ヘレン・ケラーが目ざした人 塙保己一（はなわ ほきいち）

ヘレン・ケラーの名前は世界に広く知られているが、そのヘレンが、人生の目標として尊敬した日本人がいたことをご存じでしょうか。その人の名は、塙保己一。ヘレンは、その塙保己一について次のように述べています。

「私がまだ小さいとき、母は塙先生のことを繰り返しこう話してくれました。『ヘレン、日本には幼いときに失明し、しかも点字も何もない時代に、努力して学問を積み、一流の学者になった塙保己一という人がいたのですよ』と。時にはくじけそうになったこともありましたが、この母の励ましによって、現在の自分があるのです」と。ヘレンが目標にした日本人とは、どういう人か？

塙保己一は、今からおよそ二百年前の江戸時代後期の国学者です。保己一は、武蔵国児玉郡保木野村（現・埼玉県本庄市児玉町）で生まれ、七歳のころに病気で失明しました。勉強好きで記憶力のよい保己一は、学問で生きることを決意し、十五歳で江戸に出て、検校（けんぎょう）という「当道座」（とうどうざ・目の不自由な人々による組織）の最高の役職についた雨富須賀一（あめとみすがいち）のもとに弟子入りします。

雨富検校は、当時、目の不自由な人の仕事とされていた三味線や琴、鍼やあんまなどを行う人々を監督していました。ところが学問好きの保己一は、その生活になじめません。悩み苦しんだ保己一は、川の淀みに身を投げてしまいます。幸い一命はとりとめたものの、仲間内では「落ちこぼれ」扱いされたのでした。

しかし、保己一の望みを知り、その才能を見抜いた雨富検校は、「三年間だけ好きな学問をしてよい」と言って励ましてくれました。意欲を取り戻した保己一は、懸命に勉学に打ち込みました。人並みはずれた記憶力を持つ保己一の噂は広まり、縁が縁を呼んで学者への道が開けていき、やがて大学者として世間から認められるまでになったのです。

保己一は、いったん大きな挫折を経験したことから、その際に自分を支えてくれた恩師の温かさや多くの人々の励まし、その大切さ大きさに気付きます。そのため彼は、自分に与えられた能力と人生を、自分の為だけではなく、人々のため、世の中のために捧げることを決心しました。

34歳のとき、保己一は各地に散らばる貴重な古書を集めて本にすることを志しました。放っておけば失われてしまう古書の研究こそ、自分のなすべき仕事であり、しかも後世の人々に役立つものだと考えたのです。それから40年後、74歳のときに完成したのが『群書類従』です。

『群書類従』は、法律、政治、経済、文学、医学など、あらゆるジャンルの貴重な史料が収められた666冊におよぶ大全集で、今日でも故事を研究するには欠かせない書物です。

昭和12年4月、日本を初めて訪れたヘレンは「温故学会」を訪問して次のように話しています。「私がまだ子供のころ、母は『塙先生はあなたの人生の目標となる人です』と話してくれました。今日ここを訪問し、先生の像に触れることができたのは、今回の日本訪問で最も意義深いものでした。先生の使い古した机と、頭を傾けておられる先生の像に心からの尊敬を覚えた。先生のお名前は、水が流れるように、永遠に後世に伝えられていくことでしょう。」

（育鵬社・テキストより）

組 合 員 企 業 紹 介

浪速鉄工株式会社

アイボルト国内シェアNo.1の浪速鉄工株式会社殿の堺市西区にある堺工場に堀川社長をお尋ねしました。約二千坪の敷地に鍛造や切削の工場が点在しています。エアードロップハンマーと言う圧縮空気です撃力を調整できる機械でアイボルトを鍛造するところを見学、その音の大きさに吃驚しました。また加工工場ではNC旋盤が整然と並び精度の厳しい製品を製造されています。この他にJISブレース・フック・精密鍛造品・シャックル等多種多様なものを製造されています。工場内は整理整頓が行届き、若い従業員の方も多く、またその中には若い女性方も多く居られるのに驚きました。最初にアイボルトの横吊り、引起しは事故のもと、決してしてはならないと講義を受けました。そしてそれを解決する特許製品としてマルチアイボルト、マルチアイボルト・ハイブリットを使用し安全を確保すること。またイナズマアンカーボルトと言う接着系あと施工アンカー等、高い技術を示す製品を開発されています。

「NANIWA IRON WORKS」 [IRONWAVE]

「赤いI」は情熱と熱い鉄を表し、「青いWAVE」は波のように絶え間なく次々と新しい製品を届ける思い、を表すそうですが洗練されたロゴにまた吃驚します。吃驚してばかりの広報委員ですが、社長の堀川忠彦殿は髭の似合う若いイケメンでテレビをはじめ多方面で特許製品のPRをされています。

資本金4800万円、創業昭和24年、年商約17億円の浪速鉄工株式会社殿ですが、岡山にムサシ工業株式会社と株式会社大原鉄工所と二つのグループ会社が鍛造などの加工を行っているそうです。浪速グループの最大の特徴は製品単重14グラムから最大500キログラムまで熱間型打ち鍛造できる日本国内でも例を見ない製造能力を備えている所です。

このように熱間鍛造を行っておられるのにもかかわらず、明るく整理整頓が行届き、若い従業員の方も多く活気溢れる雰囲気が感じられるのは常にプラス思考をされる堀川社長の個性によるところが大きいのでは推察致します。安全を守る特許製品等をこれからも開発され社会に貢献され、益々発展されると確信致しました。

本日はお忙しいところ、取材にお時間を頂きありがとうございました。御礼申し上げます。

(辻田 稔、記)

和光金属工業株式会社

今回は溶融亜鉛メッキのお話です。

溶けた亜鉛の中に鉄を浸漬すると、亜鉛と鉄が合金反応を起こします。鉄の表面に鉄と亜鉛の合金層が形成され、さらにその上に亜鉛の層を付けるメッキをいいます。

業界内では「ドブメッキ」と呼ばれており、鉄製品を溶融亜鉛の槽に「ドブ」と浸すことからそう呼ばれています。

そして今は使われなくなった呼び方ですが、ごく一部の人が「てんぷらメッキ」と呼んでいます。鉄製品を溶かした亜鉛の中に入れて引き上げると、亜鉛が鉄製品に付着し、ちょうど「てんぷら」の衣のように見えることから「てんぷらメッキ」と言われています。

もうひとつのいわれは、鉄製品に少しでも水分を含んでいる製品を亜鉛の中に入れた時にパチパチと亜鉛が弾くそうです、その様子が天ぷら油が弾く様子からいわれていたそうです。

今回は、その溶融亜鉛メッキについて独自の加工方法を開発し、座金類の製造販売で活躍されている和光金属工業株式会社の山本 茂社長をお訪ねしました。

創業は昭和41（1966）年7月 野中茂雄氏が大阪松原に於いて会社設立され、1979年8月には座金の溶融亜鉛メッキの製法に関する特許を得られました。この特許は製品がひとつについてしまう問題を解消するものであり、その技術は今尚メッキ技術の独走的な開発に応用され、様々な製品の加工に活かされています。

1994年6月 中国山東省海陽市発城鎮に於いて海外工場（第1工場）を竣工。
今でこそ中国への進出企業数は2012年9月現在で14,400社あり現在も増え続けています。行かれた当時は日本からの進出企業数は576社しかなく、いかに早くに中国に行かれたかが分かります。

中国に行かれて約20年という長い月日の間に座金の加工をはじめ、スプリングワッシャー、建築用ねじ、金物、建築・架線金物類、ターンバックル、切削加工品、プレート加工品、製網製品など多種多様な製品を自社工場（中国山東省）にてOEM生産することでコストダウンを実現され、またドブメッキ、ユニクロ、クロメート（三価／六価）、粉体塗装までの一貫生産を行うことで、建築・土木・道路・住宅・架線業界など、幅広い分野のニーズに応えることで業績を伸ばしておられます。

山本社長は「ねじ」を使ったストラップを作られました、その名前は「イラ、イラン」。イライラした時にねじに付いているナットを回すことでストレス解消するものです。

このような遊び心が本来の製品開発の独創的な発想につながっているのだと感じました。

今回はお忙しいところ取材に協力していただき誠に有り難うございました。

資本金：1,000万円 年商：32億 社員数：660名（中国工場600名）

メッキ加工能力 1,000トン／月

（樫本宏志、記）

浪速鉄工株式会社



堀川社長（左から4人目）と広報一行



堺工場

和光金属工業株式会社



山本社長



本社・配送センター

行事経過及び予定一覧表

月	日 付	内 容	主 催
6	3 日	ねじづくりサポート会 幹事会	ねじづくりサポート会
	3 日	組合HP活用講習会（1回目）	I T 活 用 委 員 会
	5 日	第67回理事会	総 務 委 員 会
	7 日	海外情報委員会 第1回会合	海 外 情 報 委 員 会
	21 日	人材開発委員会 第1回会合	人 材 開 発 委 員 会
	23 日	第11回親睦ボウリング大会	福 利 厚 生 委 員 会
	24 日	I T 活 用 委 員 会 会 合	I T 活 用 委 員 会
	25 日	ねじづくりサポート会 幹事会	ね じ サ ポ 会
7	3 日	海外情報委員会 第2回会合	海 外 情 報 委 員 会
	19 日	研究開発委員会 幹事会	研 究 開 発 委 員 会
	19 日	研究会発委員会 会合	研 究 開 発 委 員 会
8	6 日	第68回理事会	総 務 委 員 会
	26 日	組合HP活用講習会（2回目）	I T 活 用 委 員 会
9	26 日	海外情報委員会 会合	海 外 情 報 委 員 会
10	9 日	海外視察旅行 インドネシア（仮日程）10/9～10/13	海 外 情 報 委 員 会
	16 日	第69回理事会	総 務 委 員 会
	18 日	研究開発委員会 会合	研 究 開 発 委 員 会
	30 日	ナット分科会 会合	ナ ッ ト 分 科 会
11	9 日	第21回親睦ゴルフコンペ（仮日程）	会 員 交 流 委 員 会
	23 日	日帰りグルメツアー	福 利 厚 生 委 員 会
	27 日	第70回理事会	総 務 委 員 会
12	5 日	親睦情報交換会	ね じ サ ポ 会
	9 日	人材開発委員会 会合	人 材 開 発 委 員 会
平成26年 1	9 日	新年互礼会	総務委員会・三役会
2	1 日	研究会発委員会 会合	研 究 開 発 委 員 会
	12 日	第71回理事会	総 務 委 員 会

※7月末現在の事業予定です。

事務局より

国家栄典の受章

平成25年春の叙勲において、嶋田亘氏（㈱フセラシ 取締役会長）が旭日小綬章の栄に浴しました。

代表者変更

大西鋳螺株式会社

平成25年 6 月、代表取締役社長に大西 啓文氏が就任されました。

有限会社サカエ製鋳所

平成25年 6 月、会長に橋本 惣次郎氏が、代表取締役に橋本 栄吉氏が就任されました。

社名変更

有限会社アールケイ興産

平成25年 7 月、有限会社アールケイ興産は親会社理化工業株式会社に会社合併され、理化工業株式会社と名称を変更いたしました。

事務局長の紹介



平成25年 6 月 1 日より、関西ねじ協同組合でお世話になることになりました。

菅井三郎です。今更ながら責任の重さをひしひしと感じている次第です。

私は、昭和23年大阪市天王寺区に生まれ、今年で65歳になります。大学を卒業後、昭和47年に株式会社リコーに入社しました。営業を10年事務方を16年を経験しており、また、転勤が多く近畿6県四国4県をかわきりに、東京方面、名古屋方面および北陸をも経験もしております。リコーを退職後、大阪府内の救急病院での経理業務等を2つ経験しております。

関西ねじ協同組合という今までと異なった分野ではありますが、これまでの経験を少しでも生かして、現在取組まれている各委員会の事業目的の達成に向けて、また、従業員向けの福利厚生等、事務局の業務として事業推進に精一杯がんばる所存です。至らぬ点多々あると存じますが、どうぞ皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。